

令和2年度 旭川地区の巻

事務局 旭川市立向陵小学校

旭川市小学校長会は、市内53校（併置校3校、教育大学附属旭川小学校）の校長で組織されている。

今年度は、転入9名、採用8名の新会員を迎え、4月に書面会議による総会にて、活動方針や予算を決定するとともに、新年度役員を選出した。

I 本年度の活動方針

本市では、「第2期旭川市教育基本計画〈令和元年度～令和9年度〉」が平成31年3月に策定され、基本理念「ふるさと旭川から未来にはばたく子どもの育成」の下、三つの目標と七つの基本施策、さらに基本施策に全18の取組が示された。

特に「目標1：家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」においては、コミュニティ・スクール、小中連携教育、学校運営の改善を目指す学校評価等を通じ、保護者や地域住民の理解と参画を得た教育活動の充実、信頼される学校づくりをこれまで以上に充実させることが示された。

こうしたことから、本校長会は大目標「次代を展望し学校改善を確かに実現する校長会」を継承しつつ、各校長が諸課題の解決に向けて強いリーダーシップを発揮することができるよう、三つの重点と11の観点を設定し、組織的な取組を進めていくこととした。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童の健康と安全を最優先とする迅速な情報共有と危機管理体制を整えるとともに、今後も、本校長会の両輪



である各部と各地区校長会の活動を重視し、北海道小学校長会とともに、校長の職能向上と北海道教育・旭川市教育の振興・発展に努めていく。

II 活動の重点

1 生きる力を育む創意と活力ある学校経営の推進

- ①新学習指導要領のねらいを踏まえ、経営方針や重点等を明確にした学校経営の充実
- ②学校や地域の特性を生かした創意ある教育課程の充実
- ③心豊かにたくましく生きる力を育てる指導の充実
- ④学びの環境を整える教育諸条件の整備・充実
- ⑤危機管理意識の高揚と機能の充実

2 信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進

- ①教職員の服務規律保持と適正な勤務管理
- ②教職員の特性を生かした信頼関係を基盤とする協働体制の確立
- ③教職員の資質向上を図る体系的・計画的な研修の推進

3 会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生の実現

- ①会員の協働意識の高揚と組織強化
- ②会員の福利厚生の実現
- ③全連小、道小と連携した教職員の待遇改善

Ⅲ 各部の活動方針

1 学校経営部

学校経営の実現・推進に関する情報提供及び学校課題に関する調査研究等についての業務を推進する。

- ①小学校長会教育経営研究会の開催（中止）
- ②教育改革等に関する調査研究、情報提供、及び成果物の論文応募
- ③学校が抱える課題の抽出、対応策の情報提供

2 研究法制部

校長の職能向上並びに身分確立に関わる研修、文教、法規等に関する業務を推進する。

- ①上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催（中止）
- ②旭川市小・中学校長法制研究大会の開催（中止）
- ③研究紀要の発刊
- ④全連小、道小研究大会に関する業務
- ⑤各地区校長会における研修計画と推進

3 調査広報部

事業遂行、待遇改善等に関わる調査並びに情報の広報活動に関する業務を推進する。

- ①「小学校時報」、「教育北海道」の発刊に係わる業務
- ②教育予算要望書の作成

- ③会報、会誌の発行

4 組織厚生部

会員相互の連帯の高揚に努めるとともに、会員の福利厚生並びに親睦を通じた組織強化に関する業務を推進する。

- ①組織上の対策活動
- ②人事要望に関する事項
- ③親睦及び福利に関する事業
- ④北海道公立学校教職員互助会関係業務
- ⑤全連小・道小からの実態調査

Ⅳ 役員

会長	橋本 彰（朝日小）
副会長	古高 誠志（近文小）
〃	高田 敏也（東五条小）
監査	佐藤 浩徳（旭川第三小）
〃	真坂 和義（富沢小）
事務局長	石前 聖香（向陵小）
事務局次長	小野 敦司（末広北小）
〃	倉本 格克（千代田小）
〃	玉井 一行（大有小）
会計	佐藤 忍（豊岡小）
学校経営部長	及川 勝也（青雲小）
研究法制部長	大垣 秀彦（末広小）
調査広報部長	鈴木由美子（忠和小）
組織厚生部長	横山 市子（新町小）
中央地区会長	井村佳代子（東町小）
東部地区会長	石橋 祥子（愛宕小）
南部地区会長	池田 卓平（共栄小）
西部地区会長	田中 聡（北光小）
北部地区会長	丸山 健二（近文第二小）
新永地区会長	藤弘 亨（永山南小）
神居地区会長	北島やよい（神居小）
神楽地区会長	三浦 礼子（神楽岡小）